

## 投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 ( 4 3 9 9 )
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約9.4億円
		特定交通安全施設等整備事業 (国) 250号	姫路市網干区 新在家～浜田	うち用地補償費	0.3億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
姫路市網干区新在家～浜田				平成19年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・交通量が多い当該道路の歩道未整備区間において、歩車道分離を目的とした自転車歩行車道を新設する。 ・併せて既設歩道の段差解消を図り、自転車歩行者が安心して通行できる歩行空間の確保に努める。			自歩道整備 L = 560m W = 3.0(3.5)m(片側) 歩道(段差解消) L = 840m W = 2.0(2.5)m(両側) (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車、歩行者交通量及び自動車交通量が非常に多い。 (歩行者237人/日、自転車1024台/日、自動車16,868台/日)</li> <li>・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(32件)が発生している。</li> <li>・死傷事故率 257.6人/億台km、大型車混入率12.8%</li> <li>・当管内の国道250号西部区間については、当該工区の整備により両側歩道が全区間確保される。</li> <li>・当該全体工区(L=1.4km)の前後区間においては、段差解消整備済である。</li> <li>・当区間の東側はあんしん歩行エリアに指定されている。</li> <li>・網干西小に指定されている。また網干中学校の生徒も通学に利用している。</li> <li>・浜田地区と山陽電車網干駅を結ぶ主要な通勤通学ルートであり、自転車・歩行者の通行者が特に多い。</li> <li>・網干大橋及び新中川橋では、自転車・歩行者の約半数が歩道がない危険な路肩を通行している。 (網干中学の通学者のうち国道250号以南の生徒は、網干大橋南側の車道路肩を通行する生徒が多い)</li> </ul>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続した自歩道整備により通行性が向上し、歩行者・自転車の安全が確保される。</li> <li>・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。</li> <li>・交通安全対策が図られ、安全性がさらに向上する。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。</li> <li>・植栽を設置することにより、沿道環境の保全・創造を図る。</li> <li>・なお、樹種選定や植樹柵或いは植樹帯の形式選定、管理方法については、今後、沿道住民・企業等と協議調整を行い、合意を得たうえで計画実施する。</li> <li>・車道部は排水性舗装を行うことにより、車両の走行性と安全性の向上および沿道環境の負荷の軽減を図る。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業区間は通学路に指定されている他、最寄り駅への主要な通勤通学ルートとなっており、特に自転車・歩行者の通行が多い。</li> <li>・片側歩道整備区間において、歩道が設置されていない危険な路肩を通行する自転車・歩行者が多いため危険である。</li> </ul>				